

2022(令和4)年 10月 26日

報道関係者 各位

松山大学
(全3枚送信)

〈大三島「WAKKA」運営 村上あらし氏登壇〉 カルスポ公開講座「一般教養」

～地域の起業事例をもとに課題発見や解決の方法を考える～

松山大学では「地域との共生」と「学び直し」を通じて、充実した人生を送るためには欠かせない知的営みであるとの考えのもと、カルスポ公開講座を毎年開講しております。今回は県内外から注目を集める大三島のサイクリスト向け複合施設「WAKKA」を立ち上げた 株式会社わか 代表取締役 村上あらし氏をお招きし、ご講演いただきます。ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【松山大学カルスポ公開講座とは】

昭和55年より公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団と松山大学が共催し、松山市民を対象に開講している事業です。本年もアカデミックな内容からカルチャー・スポーツまで、多方面から講師陣をお迎えし、新しい学びの場を提供しております。2022年9月21日(水曜日)に、第1回目が開講し、今回が第6回目となります。

日 時：2022年11月2日(水) 18:30～20:00 (開場 18:00～)

講 師：株式会社わか 代表取締役 村上 あらし氏

1976年生まれ。慶応義塾大学在学中にアフリカ各国を放浪し、英語とフランス語を習得。2000年、仲間とショッピングモール開発の会社を設立。2004年、イギリスに留学しMBA(経営学修士)を履修。帰国後、民間企業勤務を経て、2007年にネット決済システム会社を立ち上げる。2017年に全株式を売却し、大三島(今治市)に移住。しまなみ海道のほぼ中間地点に位置する大三島にて、グランピング施設やカフェなどを併設したサイクリスト向け複合施設「WAKKA」を設立、運営している。

テーマ：「東京での起業・移住、愛媛での起業と魅力」

参加者：松山市内に在住または松山市内に勤務している人で18歳以上の方(学生は除く)
75名(募集は終了しております)

会 場：松山大学樋又キャンパス2階H2A教室

形 式：対面形式で開催

以上

〈本発表資料に関するお問い合わせ先〉

松山大学経営企画部社会連携課

TEL：089-926-8246

E-mail：mu-renkei@matsuyama-u.jp

プログラム

学び舎えひめ 対象講座

回数	日程	担当講師	テーマ・内容
1	9月21日 (水)	松山大学 経済学部 教授 松本 直樹	経済学と意思決定問題 仕事も娯楽も、日々の生活では様々な意思決定問題の連続です。その際の選択の基準とは何でしょうか。ゲーム理論と行動経済学を踏まえた上で、いろいろな事例に議論を応用しながら皆さんと一緒にこの種の問題を考えてみます。最後に全体をまとめながら直感的な解説も行います。
2	9月28日 (水)	ベルグアース株式会社 代表取締役社長 山口 一彦	農業に革命を興す！ 食糧を生産している農業者が『飯が食えない』という現実があります。1975年に就農し、家族中心でスタートさせました。雇用を拡大しながら、大きな責任とプレッシャーの中、個人事業主の限界を感じ、農業を会社形態でやる決心をし、1996年、従業員が100名になる頃、(有)山口園芸という法人を設立しました。組織作りをしながら権限を移譲し、会社の成長と事業の継続性について考えるようになり、株式市場から直接資金を集められる体制を作るべく、2001年にベルグアース(株)を設立し、2011年に株式上場をいたしました。日本中から若い社員が入ってきて、その社員の5年後、10年後、更には日本の農業の50年後を考え、農業を志す若い人を育てる会社でありたいと考えています。
3	10月5日 (水)	株式会社OKULAB 代表取締役 永松 修平	25年で約2倍に急成長のコインランドリー市場の可能性 銭湯の横にある昔ながらのコインランドリー。そんなイメージを覆しランドリー市場で急成長を続ける「Baluko Laundry Place(バルコランドリー プレイス)」。洗剤や空間へのこだわりで家事の1つ“洗濯”に新たな価値を提供しています。ジムやスーパー銭湯に併設した店舗や、社会福祉施設の一角をプロデュース。社会構造の変化と時代のニーズに合わせた新たなコインランドリーの取り組みをご紹介します。
4	10月12日 (水)	(公勤)松山市文化・ スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター 啓発普及担当 加島 次郎	弥生人の行動復元 ～収蔵考古資料の再調査成果～ 埋蔵文化財は貴重な国民の共有財産です。大切に保存するとともに、できるだけ公開するなど活用に努める必要があります。松山市立埋蔵文化財センターでは、主に記録保存目的の発掘調査を実施して得られた貴重な埋蔵文化財の整理・分析を通じて、当時の人々の生活や行動様式などを明らかにし、速報的な現地説明会や、発掘調査報告書等で情報を公開しています。公開講座では、収蔵考古資料のうち、弥生時代を代表する“石庖丁”を理解するための視点をご紹介します。弥生人の行動復元を試みます。
5	10月19日 (水)	松山大学 薬学部 教授 玉井 栄治	ウイルスってなに？ 一昨年から新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるっており、ウイルスに関心が高まっています。また、ウイルスに対する誤った知識や曖昧な知識は、誹謗中傷や生活ストレスを引き起こします。この講座では、ウイルスの基礎（ウイルスは生物ではない？ウイルスはどんな形？RNAウイルスとDNAウイルスとは？）やウイルスに対するお薬などのお話をいたします。ウイルスに対する正確な知識を得て快適な生活を送りましょう！
6	11月2日 (水)	株式会社わっか 代表取締役 村上 あらし	東京での起業、移住、愛媛での起業と魅力 学生時代のアフリカ放浪の旅や、東京でのIT系の会社の起業と売却、先祖の眠るしまなみ海道への移住とサイクリング・観光に関する施設の起業を中心に、外部から見た愛媛県の魅力や競争力をお話しし、皆様とコミュニケーションさせていただく講義です。世界65カ国を旅してきましたが、愛媛県はその中で一番魅力的です。中に住んでいるとわかりにくい地域の良さを、私の短い人生経験の視点で諸先輩方に対して甚だ恐縮ですがお伝えし、一方的な講義は苦手なので様々な意見交換ができればと思います。
7	11月9日 (水)	松山大学 経営学部 教授 檀 裕也	地域におけるeスポーツの社会貢献 ゲームに競技性を付加したeスポーツは、年齢・性別や障がいの有無を問わないインクルーシブ社会の実現に向けて期待されています。また、eスポーツによる地域活性化も全国各地で盛んに展開されています。本講義では、eスポーツの本質を理解した上で、Z世代にアプローチするマーケティング戦略として「愛南の真鯛」の消費拡大に取り組んだプロジェクトなど、若い感性に基づく発想や行動力によって成果を上げた活動について話します。
8	11月16日 (水)	松山大学 薬学部 准教授 渡邊 真一	今こそ考える感染対策 新型コロナウイルス感染症が世界へ広がってから2年あまりが経過しましたが、未だに日常生活や経済への影響は少なくありません。ただ、2年前と比べるとワクチン接種の普及や治療薬の登場など、徐々に以前の日常に近い状況になりつつあります。その上で改めて感染対策について考えることも必要ではないでしょうか。本講座では、基本的な感染予防対策や消毒薬の正しい使い方などについて、知識のアップデートも含めてお話しをしたいと思います。

本事業は公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団の委託事業として松山大学が実施しています。



本公開講座は愛媛県生涯学習センター「学び舎えひめ悠々大学」対象講座です。

キャンパスマップ

